

日本教育メディア学会
学 会 通 信 第 39 号

学会ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>

2006年6月30日発行

事務局

〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1

東京学芸大学教育学研究室内

電話:042-329-7344

E-mail:shijaems@u-gakugei.ac.jp

第 13 回日本教育メディア学会年次大会をお引き受けして

大会準備委員長 瀬川良明

平成 18 年（2006 年）10 月 14 日（土）、15 日（日）の 2 日間、第 13 回日本教育メディア学会年次大会を、北海道教育大学（共催）でお引き受けすることになり、札幌校（札幌市北区あいの里キャンパス）を会場に開催することで準備を進めております。

さて、学会通信第 38 号(2006 年 2 月 1 日発行)でご案内したように、本大会ではテーマを「教育におけるメディアを介したコミュニケーション」としました。大会プログラムは、教育メディアに関する今日的な関心事であるテーマを取り上げたシンポジウムと 4 つの課題研究に加え、自由研究およびポスターセッションで構成しました。加えて、全国放送教育研究会連盟様、日本放送協会様と話し合いを重ね、同時期に札幌市内で開催される第 57 回放送教育研究会全国大会と連携し、小学校英語に関する分科会と合同懇親会（学会の懇親会は別に実施します）を企画しました。

共 同 企 画「小学校英語の課題と可能性」（コーディネータ：福田哲夫）

シンポジウム「デジタル放送は教育を変えるか」（コーディネータ：生田孝至）

課題研究 1「教育メディア関連の教育／研修の内容と方法」（コーディネータ：中野照海）

課題研究 2「教育メディアの理論と方法」（コーディネータ：小笠原喜康）

課題研究 3「英語教育における放送・メディアの活用」（コーディネータ：篠原文陽児）

課題研究 4「モバイルメディアと教育」（コーディネータ：黒上晴夫）

ところで、主会場となる北海道教育大学は、全国面積の約 2 割を占める北海道の 5 都市（札幌、函館、旭川、釧路、岩見沢）にキャンパスがあり、現在、昭和 24 年の新制大学発足以来の大改革が進行中です。2006 年 4 月、札幌、旭川、釧路の 3 キャンパスには教員養成課程が、函館には人間地域科学課程が、また岩見沢には、芸術課程とスポーツ教育課程が設置されました。各キャンパス間では IP 接続によるテレビ会議システムを利用した遠隔授業が行われています。学会の主会場である“あいの里キャンパス”は、札幌市中心部より JR 学園都市線で 30 分に位置する場所にあり、“あいの里”の地名は、明治中期、この地で大規模に藍作が行われたことに由来します。

情報通信技術が急速に発達する時代に生き、教育とメディアに関する学会であるからこそ、リアルな face to face のコミュニケーションがより一層大切であると考えます。初秋の候、最も食材が豊富になるこの北の大地で、教育における人とメディアの関わり方などについて、大いに議論していただければと考えております。なお、本大会では、電子メールによる参加・発表申込方法を導入し、大会運営の情報化、スリム化を目指しております。参加の皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

本大会へ多数ご参加くださいますよう、会員の皆様にご案内申し上げます。

第 13 回年次大会日程

10月14日（土）

時 間	プログラム	会 場
9：30～11：30	共同企画	札幌サンプラザ
11：30～12：30	移 動	
12：00～13：00	受 付・昼 食	北海道教育大学
13：00～15：00	課題研究 1 / 課題研究 3	
15：15～17：15	自由研究	
17：30～19：00	懇親会（大学内）	

10月15日（日）

時 間	プログラム	会 場
8：30～	受 付	北海道教育大学
9：00～11：00	課題研究 2 / 課題研究 4	
11：15～12：00	総 会	
12：00～13：00	昼 食 / ポスターセッション	
13：00～15：00	シンポジウム	
15：15～17：15	自由研究	

会場：北海道教育大学札幌校（札幌市北区あいの里 5-3-1） 両日とも
札幌サンプラザ（札幌市北区北 24 条西 5 丁目） 14 日（土） 午前のみ

大会前日の 10 月 13 日（金）午後 2 時から学会編集委員会を、同午後 4 時から理事会を、それぞれ、札幌サンプラザ内で、開催します。関係者には別途ご連絡します。また、13 日（金）18:00 から札幌サンプラザで全放連との合同懇親会（会費 5,000 円は会場でお支払いください）を開催します。

大会プログラムの概要

■ 共同企画・合同開催分科会「シンポジウム」

「小学校英語の課題と可能性」

小学校での英語必修化がスタートしようとしている状況を踏まえ、英語教育の研究者、実践者、番組制作者によるシンポジウムを開催する。

英語教育とメディアに関する研究、小学校での授業の実践報告、NHKの小学校向け放送番組の制作の現状の報告などを交え、小学校英語教育の課題と可能性を考える。

（コーディネータ：福田哲夫）

■ シンポジウム

「デジタル放送は教育を変えるか」

2011年からテレビ放送は全てデジタル放送となる。これまでの送り手から受け手へといった図式が、双方向性が保証されサーバー型利用等受け手サイドの自由度がかなり高くなると言われる。このシンポジウムでは、これまでのデジタル放送の経緯を概観し、デジタル放送は教育（学校教育、生涯教育をも含む広い概念）を変える契機になりうるかどうかについて、教育学、マスコミ学、教育実践学、情報学等から、その可能性について論ずる。

（コーディネータ：生田孝至）

■ 課題研究 <公募>

〔課題研究 1〕教育メディア関連の教育／研修の内容と方法

当学会の発足の頃は、大学での新たな授業科目となった視聴覚教育や放送教育の授業に関す

る情報交換も重要な課題であった。現在では、視聴覚教育や放送教育などが統合されて、メディア教育や教育メディアとなっている例も多いが、これらの教育、または研修の現状はどうか。さらに、将来的にはどうすべきかなど、実際の資料をもとにして、大学や社会教育における教育や研修の課題と方法とを具体的に検討する。

(コーディネータ：中野照海)

[課題研究2] 教育メディアの理論と方法

現在の教育メディア研究分野は、何でもあり、または、何にもない、といった状況にあると思われる。何でもありとは、現代の教育は教育メディアあつてのことで、どんな研究でも「教育メディア研究」となる。また、他方では、何にもないというのは、教育メディア独特の、あるいは、教育メディア研究らしい研究とはどんな研究なのかが曖昧なように思われる。ここでは、教育メディアに関する独自の理論と対象と方法とを吟味する。

(コーディネータ：小笠原喜康)

[課題研究3] 英語教育における放送・メディアの活用

英語教育における放送・メディアの活用は、放送教育、視聴覚教育の開始当初から、優れた研究と教育および実践があり、推進されてきている。一方、中央教育審議会では、今年2006年3月以来、小学校に英語教育を正式に導入することを、その是非も含め議論してきている。こうした背景を踏まえ、表題に関し、改めて、目標、内容と方法、成果などに加え、人材、学校や地域の格差など今日的な課題を含め、協議し、取りまとめる。

(コーディネータ：篠原文陽児)

[課題研究4] モバイルメディアと教育

近年、携帯電話をはじめとするモバイルメディアの利用における低年齢化が急速に進んでいる。一方で、モバイルメディア向けのデジタル放送が開始され、モバイルメディアで利用できる学習サイトが提供されるなど、学習メディアとしての利用も進められている。この課題研究では、モバイルメディアを用いた学習に関する実践や理論研究をとりあげて、これからのモバイルメディアの可能性について検討する。

(コーディネータ：黒上晴夫)

■ 参加費 (発表論文集代を含む)

一般	6,000円 (論文集代を含む)
	5,500円 [事前振込 (8月31日まで)]
学生会員・当日会員	4,000円 (論文集代を含む)
学生会員	3,500円 [事前振込 (8月31日まで)]

同封の払込用紙に必要事項を記入の上、8月31日(木)までに払い込みください。払込手数料は各自負担でお願いします。なお、同封の「払込取扱票」では、学会年会費の納入はできませんので、ご了承ください。紛失されたときは、郵便局に備付けの用紙で、払い込みください。

口座番号	02760-7-77304
加入者名	第13回日本教育メディア学会年次大会事務局
通信欄	大会参加費・懇親会費・弁当代など内訳、氏名、所属を記入してください。

■ 懇親会

日時：10月14日(土) 17:30～
場所：大学内小ホール
会費：4,000円

■ 発表論文集

1冊 2,500円(会場手渡し)
会場に来られない場合は、別途送料500円でお送りします。

■ 発表申込期限（課題研究・自由研究・ポスターセッション）8月11日（金）（厳守）

同封の用紙に必要事項を記入の上、下記大会事務局あてにお送りください。なお、会員一人が発表できる件数は、課題研究1件、自由研究かポスターセッション1件の計2件までとします。

■ 提出原稿の書式、制限

(1) 原稿の書式

別紙「学会研究会など発表論文集原稿執筆例」を参照の上、原稿を作成してください。pdfファイル形式での原稿提出をお願いします。なお、pdfファイル形式で提出できない場合は、原稿が汚損しないような形でお送りください。

(2) 原稿枚数の制限

課題研究：A4×4枚

自由研究：A4×2枚

ポスターセッション：A3×4枚以内

■ 原稿送付期限（課題研究・自由研究・ポスターセッション）8月31日（木）（厳守）

原稿枚数、書式をご確認の上、下記大会事務局あてにお送りください。

■ 参加申込、発表申込、原稿送付先

〒002-8501 札幌市北区あいの里5-3-1 北海道教育大学 教育実践総合センター 第13回日本教育メディア学会年次大会事務局 あて e-mail : jaems06@sap.hokkyodai.ac.jp (7月1日～8月31日限定)

■ 発表者の要件

発表者（登壇）は、会員であることが必須です。発表申込時点までに本学会への入会手続きを済ませてください。なお、入会申込書は学会ホームページ<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>からダウンロードしてください。

■ 発表時間

自由研究の発表時間は30分（発表20分、質疑8分、交代2分）とします。

■ 発表用機材

各会場にMSOffice2000がインストールされたWindowsパソコンとプロジェクタを用意します。利用可能な媒体は、USBメモリ・CD・フロッピーディスクです。これ以外の機材、ソフト等をご使用の場合は各自でご準備ください。ハンズアウトなど配布資料は各自でご用意ください。

■ 昼食等

大会当日は学内の食堂（生協）が休みですので、弁当の予約注文をお受けします。同封の振替用紙に記入の上、事前にお申し込みください。両日とも、お茶と弁当（暖かいご飯と汁椀付）のセットを1000円でご提供します。なお、大学正面付近には、コンビニエンスストアの他、レストラン、蕎麦、ラーメン、寿司の店舗があり、土日も営業しています。

■ 宿泊等

大学周辺には宿泊施設がありません。宿泊の手配は各自でお願いします。なお、同時期に、大規模な医学系の学会（3日間で15,000人規模）が札幌市内で開催されるため、ホテルによっては既に満室のところもあります。早めの予約をおすすめします。

市内観光については、札幌市の観光ポータル「ようこそさっぽろ」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/access/inn.html>をご利用ください。

■ 気候

この時期、札幌の気温は日中で18度ほどになりますが、朝晩は5度と冷え込みます。(昨年)薄手のコートなどを用意されるとよいでしょう。

■ 照会先

随時、最新の情報をホームページで提供します。<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaems/>
なお、会場校へのお問い合わせ先は次のとおりです。

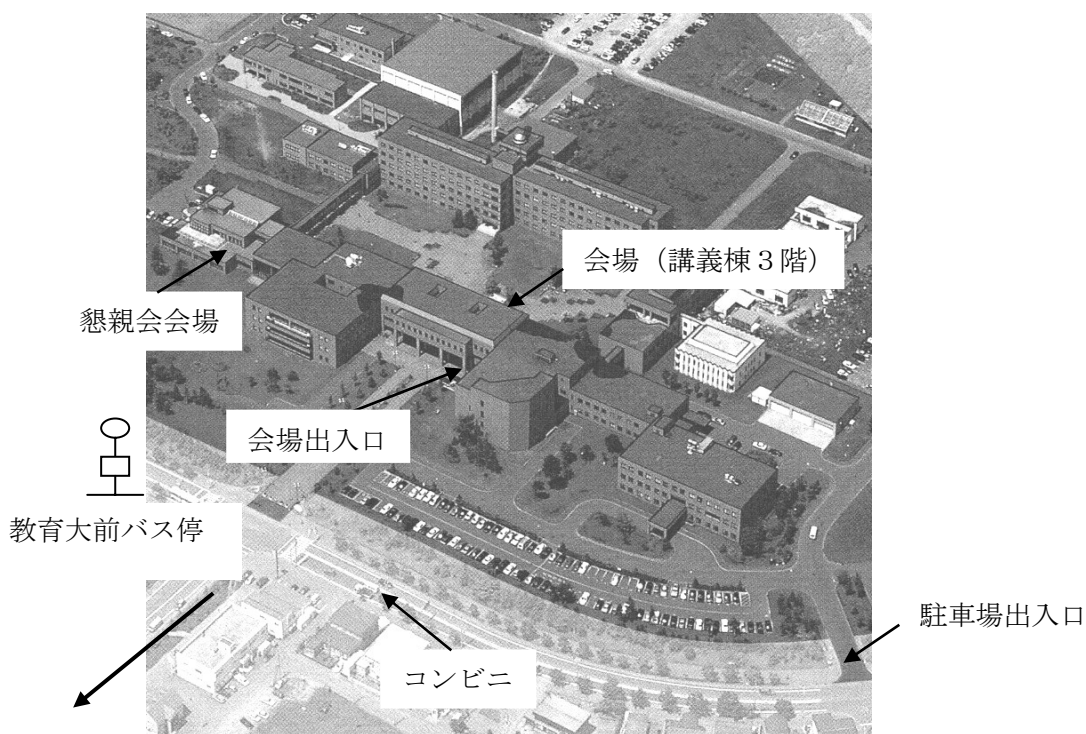
電話： 011-778-0292 (瀬川研究室) 不在時 011-778-0295 (事務室)

電子メール： segawa@sap.hokkyodai.ac.jp

■ 会場までのアクセス

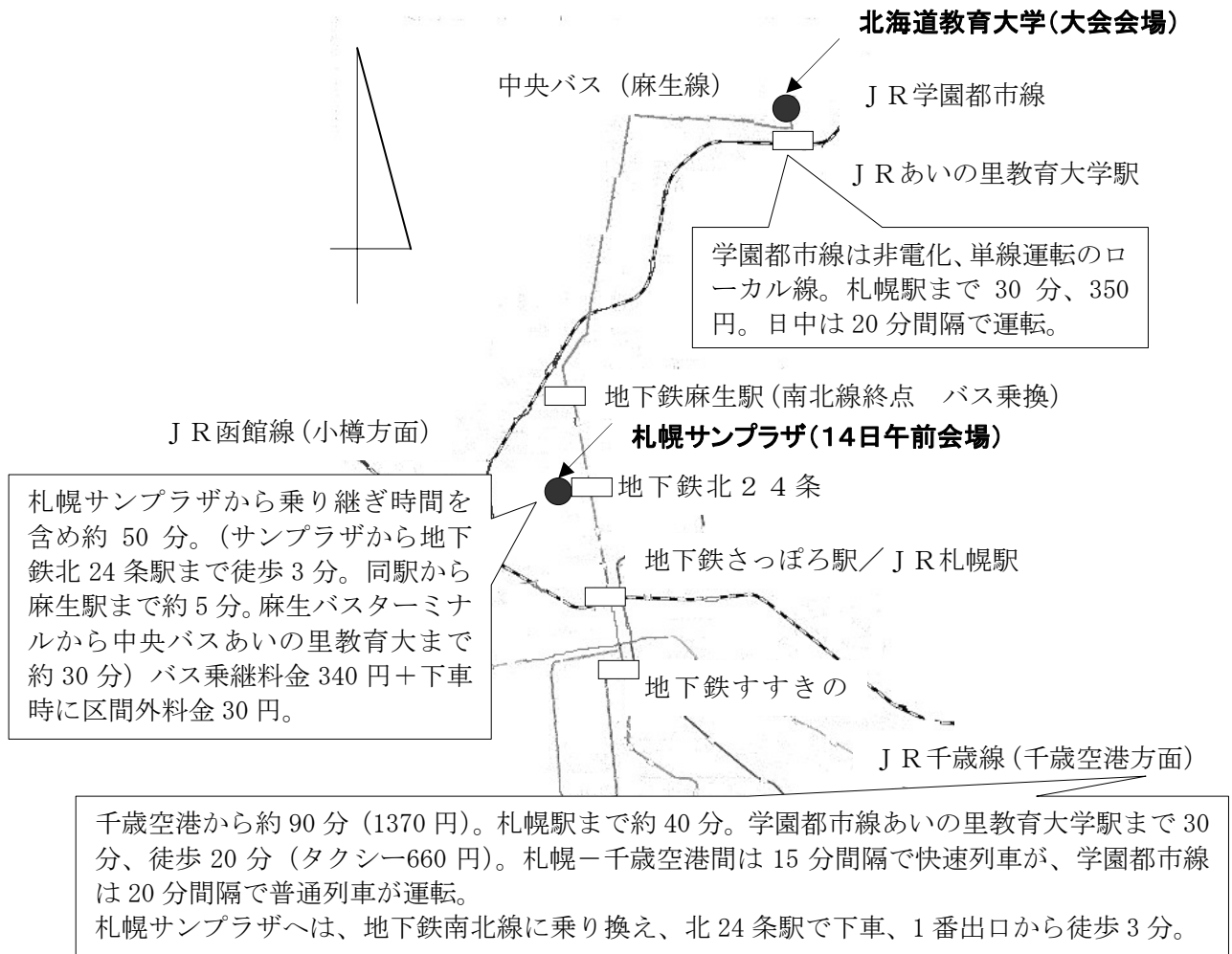
大会会場までのアクセスについては、下記の北海道教育大学札幌校ホームページで、ご確認ください。<http://www.sap.hokkyodai.ac.jp/access/index.html>

あいの里キャンパス



J R 学園都市線「あいの里教育大駅」方面 (約 1.5 k m) 徒歩 20 分

札幌市全体



札幌サンプラザへのアクセスについては、<https://www.s-sunplaza.or.jp/sub/acess/>で、ご確認ください。

§

■ 訃報 ■

すでに学会ホームページ等でご案内のように、去る、2006年3月12日、阿久津喜弘会員(国際基督教大学名誉教授)がご逝去されました。氏は、長年にわたって理事や編集委員などを務められ、本学会の発展に貢献されました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

☆ 学会費納入のお願い ☆

2006年度会費(正会員7,000円、学生会員4,000円、団体会員50,000円)等未納の会員は、お納めくださいますように、お願い申し上げます。

日本教育メディア学会 事務局

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学教育学研究室内

電話 042-329-7344

学会ホームページ URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jaems/>

E-メール shijaems@u-gakugei.ac.jp

郵便振替口座 00130-4-103021